

こんにちは 庄内町議会



No.81
12月議会号
6.2.1



栄光をつかめ

庄内町スポーツ協会表彰式
響ホール

関連記事 P14

- ◆物価高騰対策支援……………〈議案・補正〉 P. 2
- ◆12人の提言……………〈一般質問〉 P. 4
- ◆小学生が傍聴に……………〈アンケート〉 P.12
- ◆目指すは優勝…〈町民へのインタビュー〉 P.14

清川・立谷沢出張所 廃止へ

議案

12月 定例会



今までの取扱い業務ができなくなるよ

庄内町清川出張所及び庄内町立立谷沢出張所を、令和6年3月31日をもって廃止することに決まりました。このことに伴い、印鑑登録証明書の交付の請求や住民票の写しの引渡し事務を、清川郵便局や立谷沢郵便局で取り扱うこととなります。

会期

12月5日(火)から
11日(月)まで

各会計補正予算

7件

条例制定

9件

契約案件

3件

事件案件

5件

以上
24件

原案どおり
可決

**4施設の指定管理者が
決まりました**

<p>● 指定の期間 令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで</p> <p>● 指定管理者 庄内町清川字花崎1番地2 清川地区振興協議会 会長 石塚 俊</p> <p>庄内町清川体育館及び庄内町清川グラウンド</p>	<p>● 指定の期間 令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで</p> <p>● 指定管理者 庄内町肝煎字福地山本53番地1 清流の里立立谷沢 会長 松浦 和雄</p> <p>庄内町立立谷沢体育館及び庄内町立立谷沢グラウンド</p>	<p>● 指定の期間 令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで</p> <p>● 指定管理者 庄内町清川字花崎1番地2 清川地区振興協議会 会長 石塚 俊</p> <p>庄内町清川まちづくりセンター</p>
--	---	--

<p>6 契約の相手方 酒田市松美町4番15号 北日本車輛株式会社 代表取締役 海藤 英夫</p>	<p>5 契約金額 5296万5000円 (うち消費税額481万5000円)</p>	<p>4 納入場所 庄内町余目地内</p>	<p>3 納入期限 令和6年3月29日</p>	<p>2 規格及び数量 ロータリー除雪車 1台</p>	<p>1 品名 ロータリー除雪車</p>	<p>6 契約の相手方 庄内町余目字大塚104番地の3 余目自動車工業株式会社 代表取締役 阿部 豊</p>	<p>5 契約金額 1193万3075円 (うち消費税額108万4825円)</p>	<p>4 納入場所 庄内町役場</p>	<p>3 納入期限 令和7年3月31日</p>	<p>2 型式及び数量 三菱ふそうローザショートボディ 2RGIB740EBNE 1台</p>	<p>1 品名 マイクロバス 25人乗り</p>	<p>道路メンテナンス事業(補助) 橋梁長寿命化修繕計画に係る 橋梁補修工事(余目新田大橋)請負</p>	<p>4 契約金額 2億2440万円 (うち消費税額2040万円)</p>	<p>3 工期 着工 議会議決の日の翌日 完成 令和6年3月29日</p>	<p>2 工事場所 庄内町余目新田地内</p>	<p>1 工事名 道路メンテナンス事業(補助)橋梁長寿命化修繕計画に係る橋梁補修工事(余目新田大橋)</p>	<p>5 契約の相手方 庄内町余目字土堤下38番地1 十和建設株式会社庄内町支店 支店長 後藤 竹也</p>	<p>町営バス車両購入(債務負担行為)</p>	<p>契約案件</p>
---	--	---------------------------	-----------------------------	---------------------------------	--------------------------	--	--	-------------------------	-----------------------------	---	------------------------------	--	---	---	-----------------------------	--	--	-------------------------	-------------

補正の ポイント

物価高騰対策支援

令和5年度一般会計補正予算(第5号)は、予算総額に収入支出それぞれ4416万円を追加し、総額131億2521万円となりました。また、同補正予算(第6号)は、予算総額に収入支出それぞれ1億6383万円を追加し、総額132億8904万円となりました。

主な支出として、低所得者世帯支援事業1億174万円、庄内町農業資材等物価高騰対策支援事業4365万円、高齢者、障がい者施設等物価高騰対策支援事業514万円等です。

低所得者世帯支援事業

1億1174万円

物価高騰の影響を大きく受けている低所得世帯への支援として、町民税非課税世帯に対し、1世帯あたり7万円の給付を行います。



農業資材等物価高騰対策 支援事業

4365万円

農業資材や燃料の物価高騰による影響を受けた生産者に対して、令和5年度の水稲作付面積に応じて支援します。

主食用米等の作付面積、10aあたり1000円を交付します。



また高くなったね

高齢者、障がい者施設等 物価高騰対策支援事業

514万円

町内に住所を有する高齢者施設・事業所(14事業所)と障がい者施設(9事業所)に対して、サービス提供にかかる費用の一部を補助し、物価高騰の影響を受ける事業者を支援します。

給与条例が
一部改正
されました

県人事委員会勧告を踏まえてのもので、一般職は、月例給を平均で0.78%、期末・勤奨手当を0.1箇月分、再任用職は期末・勤奨手当を0.05箇月分、特別職は期末手当を0.07箇月分引上げます。



町民の暮らしやすさを求め

12人が町政を問う

一般質問

12月7日～8日



庄内町議会 HP



また次回もがんばろう

一般質問

12人30項目の質問(★印を掲載)

- ★齋藤 秀紀議員…………… P 5
- ★温泉事業
- ☆立川地域複合拠点施設前の排水路
- ☆少子化
- 吉宮 茂議員…………… P 5
- ★政治姿勢
- ☆再犯防止推進計画の策定
- 渡部 伊君子議員…………… P 6
- ★带状疱疹ワクチン接種費用の助成
- 上野 幸美議員…………… P 6
- ★障がい者就労施設支援
- ☆自主防災組織の活動支援
- 工藤 範子議員…………… P 7
- ★令和6年度予算
- ☆介護保険
- ☆しようない秋まつり
- ☆スクールバスの冬期運行
- 奥山 康宏議員…………… P 7
- ★防犯カメラの設置
- ☆鳥獣被害対策
- ☆農業振興
- スルタンヌール議員… P 8
- ★冬期間のスクールバス運行
- ☆未利用・未使用施設等の活用
- 石川 武利議員…………… P 8
- ★楽しくにぎやかな農山村地域の形成
- ☆子育て支援センターの職員体制
- ☆庄内町の職員数
- 伊藤 和美議員…………… P 9
- ★GIGAスクール構想の現状
- ☆民俗芸能の継承
- 阿部 利勝議員…………… P 9
- ★自伐型林業
- 小野 一晴議員…………… P 10
- ★図書館改築事業
- ☆ワクチン行政
- 加藤 将展議員…………… P 10
- ★本町が保有している遊休不動産の活用
- ☆農家に対する燃料・肥料等の購入支援
- ☆熊対策としての麻酔銃の確保
- ☆「食の都庄内」の庄内町での取り組み
- ☆狩川まちづくりセンター旧コミセンの活用

12人の提言

一般質問

Q & A

温泉事業

黒字化せよ

町長 現状分析し検討したい



議員 齋藤 秀紀

問 本町の2つの温泉を黒字化するには、燃料費をゼロにする方法が考えられる。まずは、町有林の木材である。300ha以上の町有林を毎年5

haずつ伐採・植林をすすめる町有林無限ループ計画をし、その一部木材をバイオマス燃料として使う方法である。

もう一つは、もみ殻である。もみ殻を10分の1に圧縮し、薪の代用品として使う方法である。どちらの方法も今の事業をリセットして取り組まなければ出来ないことから、町長判断が求められるかどうか。



赤字でいいのか

齋藤 秀紀 議員

町長

北月山荘のボイラー設備は、国の補助金を受け、ペレットボイラーを導入している。そのため、令和11年まで変更はできない。設置業者への確認では、もみ殻使用は可能だが、燃費が悪く、コスト的には現状と変わらないとのことである。

まちなか温泉は、町営ガスを利用しており、新たな機械設備の整備、ランニングコスト等の調査研究が必要で、現時点での導入は難しい。提案は真摯に受け止めながら、どのような形で温泉の黒字化を目指すのか、地域資源をどう活用できるのか、現状分析し検討していきたい。

説明せよ

政治姿勢

町長 課を越えて取り組む



プロジェクトってなあに

問

令和4年度に立ち上げた7つのプロジェクトの検討経緯とその内容についての説明が十分でない。

町民に対して、詳細に説明すべきでないか。

町長

7つのプロジェクトチームは、課を越えた横断的な取組が必要であると捉え、令和4年度に立ち上げた。町広報や講演依頼の際に説明するようにしているが、今後も心掛けていきたい。

問

第2次庄内町総合計画の後期基本計画は令和7年度までであるが、富樫町政の独自色を明確にするため、1年前倒しで策定すべきでないか。

町長

次期の町総合計画は、現在準備を進めており、約2年間を要することから前倒しは難しい。



議員 吉宮 茂

問

令和6年度予算編成は、コロナ禍後に迎える初の予算編成である。予算編成にあたり、特に配慮する点は何か。

町長

予算編成では、地方創生臨時交付金のような特別な財源がなくなることを想定した見直しを立てること、町総合計画後期基本計画の目標達成度合いや、事業効果等を検証することなどの基本的考え方のほか、農業資材高騰などの現状を踏まえ検討していきたい。

一般質問

吉宮 茂 議員

12人の提言

一般質問

Q & A

带状疱疹
ワクチン

接種費用 助成せよ

町長 発症者数を踏まえ検討



渡部 伊君子 議員

問

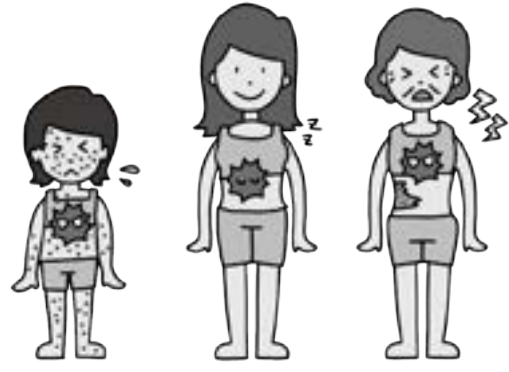
带状疱疹ワクチン摂取は、重症化を防ぐために有効な手段の一つであるが、接種費用が全額自己負担で高額なため接種をためらう方が多い。

接種費用を助成し町民の負担を軽減することと、接種率向上も期待される。また重症化の予防や医療費削減、働く世代の休業による経済的損失軽減につながるかと考える。高齢化が進むなか、ワクチンを積極的に接種することができ環境が重要である。接種助成をす

るべきと考えるかどうか。

町長

带状疱疹は、非常に痛い症状、後遺症の可能性など怖い病気である。加齢など免疫機能の低下で発症する場合があるが、十分な休息、バランスの良い食事、体温が少



いたい！なかなか治らないなあ

し上がる程度の運動をするといった生活で予防もできるようである。带状疱疹に限らず、健康的な日常生活を心掛けることで防げる病気があるので、まずはその説明・指導に力を入れていきたい。ワクチンは、国において定期接種に向けた審議対象となっており注視しながら、本町の発症者数を踏まえ検討できればと考えている。

障害者 施設 工賃アップのため 外部に働きかけよ

町長 企業への働きかけが可能か検討



上野 幸美 議員

問

障害者優先調達推進法では、障がい者の経済的自立や社会参加のため、国や地方公共団体等が障害者就労施設等からの優先的、積極的調達推進を定めている。県の



がんばってるんだけどなあ 就労継続支援B型 TeToTeo

町長

町では「庄内町障害者就労施設等からの物品及び業務等調達方針」を毎年制定している。

各事業所でのようなものを販売しているか、どのような役務を提供できるかを役場内で周知している。また、自立支援協議会調整会議での意見から就労施設等利用者の工賃につなげるため、令和3年度から役場庁舎等でSUNSAUNパーを開催している。今後も調整会議で意見をいただき、町でできることを支援していきたい。

就労継続支援B型事業所の平均工賃は、全国下位である。町の推進方針では、全庁に周知し、前年度より上回る調達目標額としているが、この方針では限界がある。就労移行支援や工賃アップには、企業や町民の理解が不可欠であり、町の外部への働きかけが必要であるかどうか。

県共同受注センターのマッチング事業により多くの事業所から参入いただくことで、受発注が進むことを期待している。町としても、企業への働きかけができるかどうか検討したい。

予算編成

暮らしを応援せよ

町長 必要な対応に努めたい



みんなたいへん



くどうのりこ 議員
工藤 範子

問 町民の暮らしは電気料、ガソリン、灯油、食料品などの大幅な値上げで苦勞している。また、基幹産業の農業は猛暑の影響で米や野菜など、打撃を受けている。

余目町農協の令和5年度産米は、推定反収592・2kgである。令和3年度より30kgの減収で深刻な経営状況であり、町へ高温等被害対策による緊急要請が、庄内たがわ・余目町農協各農協農政対から提出されている。農業を守る支援策と町民の暮らしを守り、応援する予算編成にすべきでないか。

町長

農業支援では、今年の状況を踏まえ、農業者が営農意欲を持ち続け、次期作に向けた準備にとりかかることが出来るよう、国や県とも協調し、適時適切に支援していくことが重要だと考えている。

これまでも国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを活用し、機動的な支援を幅広く行ってきたように、今後も国や県の緊急的な対応も注視しながら、令和6年度当初予算に限らず、状況に応じ、必要な対応に努めていきたい。

農協等から緊急要請をいただき、意見交換した中で、水稲被害がほぼ全農家に及んでいることから、次期作に向けた種子への支援ということを検討している。

防犯カメラ

町長 対象外 意見として受け止めたい

交付金を活用せよ



おくやま やすひろ 議員
奥山 康宏

問 防犯カメラは、町民の生活から犯罪を未然に防ぐ有効な手段である。設置することで、犯罪の抑止につながり、毎日の生活や仕事に安心感が得

られている。防犯カメラの普及率についても、年々増加傾向にある。街路灯や防犯灯を設置する場合、庄内町住みやすい地域づくり活動交付金を活用している。今後は、防犯カメラを設置する場合、この交付金を活用できないのか。



あれば安心

町長

町が設置している防犯カメラは、環境防災課が管理している新産業創造館と建設課が管理している八幡公園の2箇所となっている。

庄内町住みやすい地域づくり活動交付金の対象に、防犯カメラの設置は対象としていない。意見として受け止めたい。

教育長

教育施設の設置状況では、全ての小・中学校、八幡スポーツ公園、響ホール及び図書館に防犯カメラまたは監視カメラのどちらかを設置している。幼稚園は、防犯カメラではないが、開園中は玄関を施錠し、モニター付きインターホンで対応している。

スルタンヌール議員

一般質問

石川 武利議員

12人の提言

一般質問

Q & A

冬期間のスクールバス

教育長 現地調査し見直す

すぐ運行せよ



スルタンヌール議員

問

冬期間のスクールバス運行を求める要望への対応はどうか。

また、悪天候時の対応をどのように考えて



安全・安心が第一

いるのか。現地調査について、誰がどのような方法とするのか。登下校時が悪天候の場合の、臨時スクールバス運行の判断は、教育長が行うのか。通学の安全・安心の判断の基準が、保護者と教育委員会では、違うのではないか。

教育長

冬期間のスクールバス運行では、他の集落からも要望があるため、教育委員や校長会に意見を求めたところ、町全域で公平な運行基準が必要であるとの意見をいただいた。次年度に向けて、教育委員会事務局で現地調査のうえ、見直しを行いたい。要望団体へはその旨を回答している。その際、悪天候時は、昨年度は警報発令時のみ対応していたが、今年度は発令時以外でも風雪が強い場合など学校が一斉下校と判断した場合は、臨時に運行することを説明している。保護者の気持ちも理解できるが、教育委員会としては歩くことによる教育的メリットも重視したい。

農山村 人口減少 歯止めせよ

町長 地域に寄り添った支援を行う



石川 武利議員

問

人口減少社会を迎え農山村地域、特に中山間地域では少子高齢化が進み、住民が減少しているのが実態である。本町においても同様に中山間地域では少子



じゃんけん・ぼん 立谷沢地区 清流の里秋まつり

町長

立谷沢地区の場合、まちづくりセンターの指定管理者制度を導入するため「清流の里立谷沢」を設立された。住民主体で地域を運営していくことにより、元気、活力が生まれ、持続可能な地域づくりにつながる。地域運営組織が自ら考え、行動していくことが大切であり、地域に寄り添った支援を行ってきたい。

また、子どもたちの地元回帰に繋がるように、自然体験を通じて、ふるさとの原風景を刻み込んでいくことは可能だと思っている。学校教育と連携して、そのような気持ちを醸成していくことが今後の課題と考えている。

化と共に高齢化率が50%を優に超えている。来年度より清川、立谷沢両まちづくりセンターは指定管理者制度が導入される。これを機に地域を挙げて、にぎやか過疎地域の構築を一大決意と位置付けし、人口減少の歯止め施策を是非構築し、新しい山村のあり方を探るべきと思うがどうか。

GIGA 一人ひとりの
スクール構想 **学びを保障せよ**

教育長 学力の定着向上を目指す



パソコン、有効に使って 立川中学校



伊藤 和美 議員

問 1人1台パソコンにより、個別最適化された学びは出てくるか。

デジタル学習教材は子ども一人ひとりの得意不得意を見える化し、教員の指導に活かすこ

とができる。また、不登校や病気により、学校に長期登校できない場合でも、自宅で学習を止めることなく学習できる。デジタル学習教材を導入する予定はないか。

教育長

一人一台パソコンが配置された3年目になる。活用方法は各学校で違い多様である。コロナ禍の学年閉鎖

や別室登校、学校に來られない児童生徒へのリモート授業など、工夫し有効活用している。ICTの利用では今後、様々な機能が付加されていくため、有効なものも導入していきたい。現時点では、学習内容に応じてパソコンの良いところを選択し、児童生徒に最も学力が定着する方法を考えながら教育活動に生かしていく必要があると考えている。

問

町が質の高い教育に力を入れていることにより、子育て世代の移住増加も考えられるがどうか。

町長

保育園留学で4組が来ており、また来たいというお話も聞いている。関係人口の拡大に、教育委員会と連携できればと考えている。

自伐型林業

足元の宝を掘り起こせ

町長 自伐型林業の事例を紹介



阿部 利勝 議員

問

中山間地域再生の切り札として、採算性・循環性・防災を高い次元で両立する「自伐型林業」という切り口がある。200年先まで見据えた持続可能な林業経営で、

50年サイクルの皆伐に比べ生産量は3〜5倍、収益は十数倍と考えられる。そのうえ、委託した森林所有者には売り上げの一割還元事例もあり、雇用も生まれる。本町は人工林比率が県内でもトップクラスであり、「自伐型林業」で足元の宝を掘り起こすべきではないか。



小さく作業 山を守る

町長

本町の現状からは、自伐型林業は難しいと捉えている。一番の理由は人材で、自ら林業で収入を得ている方がいないことである。

町では法律に基づく森林経営管理制度を、意向調査、集積計画、配分計画の策定を1サイクルとして具体的に進めていくことが重要課題となっている。ただし、制度を知らない方が73%にも及んでおり、まず周知を図ることが最優先であるが、説明会等の際に、自伐型林業の事例を紹介することなどは可能と考えている。

ここが聞きたい Q & A

伊藤 和美 議員

一般質問

阿部 利勝 議員

12人の提言

一般質問 Q & A

図書館

町の責任 形にせよ

町長 提案を受け止め今後検討



おの かず はる 議員
小野 一晴

問 図書館の物品納入の契約について、業者の責任で発生した遅れに対して延滞金を請求する条文はあるが、町の責任で発生した遅れに対する責

任の条文がない。建設工事請負契約約款には両方明記しており、基本となる町の契約に関する規則にも引用できる記載があるのになぜ整備しなかったのか。フェアでない。町が請求できる延滞金と同じ条件で業者に延滞金を支払うことで今回の遅れに対する解決としてはどうか。

町長 契約書に、町の責に帰する事由による遅延についての条文がないことについては、指摘のとおり、その部分が欠けていたのかなと思っている。今後は規定していかねければならないものと考えている。ただし、どうしても変更が生じる場合は受注者と協議のうえ変更契約ということもできる。今回の件に関しても、受注者に損害等が発生する場合は連絡をいただくよう伝えている。延滞金の支払いに関しては提案ということを受けて止め、今後検討したい。



フェアな契約に

町は活用せよ

遊休不動産

町長 土地の有用性も含め検討



かとう かつ のぶ 議員
加藤 將展

問 町が保有する遊休不動産が活用されれば、新たなビジネスや社会プロジェクトが展開され、地域経済が活気づき、雇用機会の増加にもつながる。また、地域の景観



このままだともったいない

町長 公用や公共用に供していない普通財産のうち、現在貸付等を行ってなく、今後も利用見込みのない不動産については、基本的に町公共施設等総合管理計画に基づいて売却等による処分を検討し、財源確保に努めていきたい。処分検討にあたっては、その土地等の有用性も含めて、関係する町の各計画や地域の事情も併せて一緒に検討していくべきであると思っている。リストの公表については、住民の方から活用できるようなものがあれば、公表していければと考えている。

にも良い影響を与え、生まれる新しい施設やイベントスペースは、地域交流を促進し、文化的な拠点となり得る。町は遊休不動産の需要や市場動向の調査・分析を行うべきではないか。また、これら不動産のリストを地域に公表し、利用につながる情報を提供すべきではないか。

アピア跡地住宅の 上朝丸町内会への編入

町民と
語る会

開催日時 令和5年5月26日 午後6時00分～午後7時30分
団体等名 上朝丸自治会 **出席議員** 余目地域議員9人(開催団体より指名)
開催場所 上朝丸公民館 **参加人数** 上朝丸自治会 14人

アピア跡地の住宅地について 町内会と協議しているか

事前質問 町とアピア跡地の開発業者の間で、上朝丸町内会への編入について協議しているのか。
 また、上朝丸町内会の住民が、役場担当課でアピア跡地について質問したところ、民間業者の事業には一切タッチしない旨を伝えられた。町として、多額の助成金を出していることも踏まえ、一定の関わりを持つべきと考えるがどうか。

回答(企画情報課・建設課) 町内会への編入については、町と開発事業者との間での具体的な協議はしていないが、令和4年の秋に、町と上朝丸自治会と協議している。

町としては、開発区域内の道路の協議や、上下水道などのライフライン、雨水排水の処理計画の協議、関係機関への協議などについて、指導等を実施している。また、地域からは仮囲いの転倒や、砂の飛散などの相談もあり、地域とトラブル等がないように良好に事業を進めるようお願いをしている。(回答は事前にいただいた原稿の要約)



住宅がいっぱい

上朝丸町内会に加入 反対意見も

町内会からの意見

●町内会の意見を集約すると、3対7の割合で、上朝丸町内会に加入することに反対の声が大きくなっている。一つの自治会として独立すべきと思っている考え方もあるが、最終的に上朝丸町内会に受け入れざるを得ないのかな、と個人的に考えている。

新たに来る住民は、町内会のことは考えていないだろうし、町や開発業者、上朝丸町内会と積極的に連携して、諸課題の話し合いの場を持つべきである。開発行為に対して、税金を投入するのであれば、町も一定の関わりを持つべきであり、議員の皆さんからも我々の力になってもらいたい。

●企画情報課と、町内会役員と話し合いを

行っている。アピア跡地の住宅団地32戸をどうするか、結論はできなかった。山形新聞の広告欄に、アピア跡地の販売状況が掲載されているコピーをいまだき、32戸中、29戸が売却されていたことを、はじめて知った。

役場との 話し合いが必要

議会 町内会からの意見や要望のなかで、街路灯やごみステーション設置については、既存の町内会に設置する前提の基準だとも考えられる。今回のように大規模な住宅団地造成の場合は、事前にインフラ整備を行った後に、宅地販売を実施した方が得策だと思おうので町に働きかけたい。

また、役場が主体となり事業者、地元町内会を含め3者間での説明会等、何が課題になっているか、何をしたいのか、もう一度役場から入ってもらい、話し合いの場を設けるように働きかけたい。

その他の意見

●特急列車のいなほですが、余目駅から乗車するとき、ホームと列車のステップ間にかんりの段差があり、乗り降りが大変である。特に冬場の時期、電車から降りるとき危険を感じる。

●南野地区に建設された子育て応援住宅について、入居状況はどうなのか、入居者からすれば市街地の住宅地に建設すべきでないか。

意見交換の内容は抜粋、要約です。詳しくは、議会ホームページをご覧ください。

○ようこそそ議会傍聴へ(アンケート等)

議員へ

議員は何を聞きたいか、末端行政に何を求めるのか。的確に話して欲しい。財源を含め、どんな地域社会を目指すかを話して欲しい。

先月17日開催されました特別企画の町民と語る会に参加し、2、3、質問をさせて頂きましたが、数日後に某議員さんから連絡が入り、話をする機会を得て、嬉しかったです。これからも継続して開催して頂きたいです。

議員の、楽しくにぎやかな農山村地域の形成については、重要な問題で地域と町全体とで考えて実行していくべきだと思います。

議会全体へ

提案する町側の説明が本当になりません。これでは時間の無駄遣いである。何のための議会なのか。

町のインフラ整備は、これからも続くことなので、しっかり質問を把握整理した上で、これからの計画に役立てて欲しい。

何のためのラインなのか、職員の町民に対する思いが感じられない。怠慢ではないか。以前、高校生一人に1万円給付する件はラインで申請できた。

郵便局への一部業務の委託は、山間地域では必要ないことである。都心の方では10年以上前からやっています。

近隣行政横並びより町民ファーストの立ち位置も必要。

久しぶりに傍聴に来ました。ネット配信とは

違い緊張感が伝わった。

町の内容説明であらたに知ることができました。

議会の進行状況が分かった。

自分に与えられた時間をこなすために、本項より少し外れた質問も見受けられた気がする。一律に60分を与えることはないと思う。

その他

立谷沢や清川には自然資源や歴史・月山・羽黒古道を含め要素は一杯あると思う。

町の施設又管理している道路等は各部署で点検して補修したり改修して又、不要な施設は解体等を考えたら良いのではないが、町の一層の発展を祈ります。

近隣の市町との連携・県との連携等は、どうなのか見えてこない。

低所得世帯への7万円給付について、今までのシステムを使って追加できると考えるが、新たにシステムを構築するという考え方がおかしいと思う。

ビジネスダイレクトが遅れている。田舎の行政はとにかく遅い。もっと勉強すべきだ。

マイナンバーカードでセブンイレブンで交付する事が心配です。



アンケート集計結果(41人中)

- ①傍聴にきてよかった……………28人
 - ②勉強になった……………25人
 - ③おもしろかった……………10人
 - ④緊張感があった……………14人
 - ⑤議会が頑張っているのがわかった……………14人
 - ⑥町の動きがわかった……………23人
 - ⑦議会のやりとりがわかった……………2人
 - ⑧議会のやりとりがわからない……………2人
 - ⑨行政用語がわからない……………2人
 - ⑩答弁が適切でない……………0人
 - ⑪ネット中継で十分だと思った……………1人
 - ⑫議会の熱意が伝わらなかった……………1人
- (12項目・複数回答)

議会より

多くの皆様よりアンケートにご協力いただきありがとうございます。今後より良い町政を目指し、議員各位が切磋琢磨していききたいと思います。

12月定例会 傍聴者数53人

5日(火)	議案等審議	1人
6日(水)	各常任委員会	0人
7日(木)	一般質問	38人
8日(金)	一般質問	13人
11日(月)	議案等審議	1人

余目第二小学校の 6年生がきてくれました!

余目第二小学校の アンケートより(原文)



勉強になった

- ・ 迫力がすごかった。子ども
の事で、内容が模型を作る
などとよかった。
- ・ 議長が話しているとき、主
語と述語も合っていたし、
わかりやすく聞けたし、目
的がよくわかった。
- ・ 積極的に発言していて、か
なりわかりやすかったです。

- ・ 庄内町の物事がどのように
決められているのか、わか
りやすかった。
- ・ 町や議会の目標に沿ったこ
とがとても大事だと分かっ
た。
- ・ 1つの内容について、とて
もくわしく会議していてす
ごかった。
- ・ 進むのが速くてスムーズ
だった。
- ・ 質問側の意見にたいして、
こたえる側は、交代に言っ
ていた。
- ・ 会議の質問が良かった。
- ・ 温泉についてよくわかりま
した。
- ・ 庄内町についてしんげんに
うけていた。
- ・ 町のことをよく分かり、そ
して質問もくわしく話し
合っていて、いいと思いま
した。
- ・ 私も勉強になりました。
- ・ 議会のやりかたやどうやっ
てやるのがわかった。
- ・ 議会がどんなふうやって
いるのがよくわかった。
- ・ 庄内町の事についてたくさ
ん話しをしてすごいいい
と思いました。

みなさまの傍聴をお待ちしております。 傍聴は短時間でもできます。



議会中継サイト

※ 4階議場への昇降が困難な方は、エレベータをご利用いただけます。

なお、介助が必要な方は、議会事務局 (TEL 0234-42-0189) へお申し出ください。
発熱など、体調不良の方はご遠慮ください。

インターネット 議会中継 配信中

庄内町議会のホームページからアクセスできます。

(12月定例会中継(LIVE)映像アクセス件数:679件)

- 図書館ロビー、各地区のまちづくりセンターでも生配信をご覧になれます。
- 会議後1週間程度で、録画配信をしています。
- スマートフォン、タブレットなどでも生中継、過去の映像を視聴できます。

① 庄内町議会で検索



② トップページ画像下の

議会中継 をクリック

※ スマートフォンなら

令和5年 ライブ
の ライブ ボタンをクリック
するなど。

次回

庄内町議会
3月定例会の会期は

3月5日(火)~18日(月)の予定です

町民へのインタビュー

2人の今年の夢

全日本中学校陸上競技選手権大会で優勝したい

～スポーツ協会表彰式～



左から、一那さん(松陽)・龍さん(仲町)・利音さん(廻館)
大地さん(上朝丸)・陽太さん(緑町)

● 栄光賞 ●

佐藤 利音 第31回大会山形県少年少女スポーツ交流大会
男子小学1000メートル優勝

國井 一那・菅原 陽太・寒河江大地・久保田 龍
第76回山形県陸上競技選手権大会
男子小学生4×100メートルリレー優勝

所属 / 余目陸上スポーツ少年団

1月7日に、令和5年度庄内町スポーツ協会の表彰式が行われました。今回は陸上部門で栄光賞に輝いた、第四小学校6年の佐藤利音さん(廻館)と、第一小学校6年生の國井一那さん(松陽)のお二人に今年の抱負を語っていただきました。

問 陸上競技を選んだ理由は何ですか。

利音さん 姉と兄が小学生の時に陸上を行っていたため、自分も走り始めました。

一那さん 父がスポーツするに体力が必要ということと走り始めたら、走ることが得意だと気づき、陸上競技に決めました。

問 今年の目標や夢は?

利音さん 一那さん 目標は夏に行われる全日本中学校陸上競技選手権大会3000メートルの入賞。夢は、優勝にします。

問 指導の方や、保護者に対してどのように思っていますか。

利音さん 一那さん はい、感謝の言葉しかありません。



花き提供
庄内町花き振興会より生花を提供いただきました。



要約筆記 ありがとうございます
本町議会は独自の活動として、要約筆記を導入しています。答弁がわかりやすいと好評です。

● 要約筆記の会やまびこ
代表 柿崎 明子

● 要約筆記ばんけの会
代表 菊池みつ子



新年にあたって

議長 石川 保

まず初めに、1月1日 議会としても14人の議員が発生した石川県能登地方での大地震で被災された皆様に、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

改めまして、あけましておめでとうございます。皆様のおかげです。皆様におかれましては、大きな希望をもって新たな年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、3年以上にわたり猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症がようやく収束の兆しを見せ、昨年5月8日からは、様々な行動規制が大幅に緩和され、活気や賑わいが戻りつつあります。原油高騰や物価高、人口減少など町の課題はまだ多くありますが、今年7月1日には合併20年目を迎えることとなります。

発行人

議長 石川 保
議会広報常任委員会

- 委員長 阿部 利勝
- 副委員長 渡部伊君子
- 委員 石川 武利
- 委員 スルタンヌール
- 委員 奥山 康宏
- 委員 伊藤 和美